

# なんで検査するん？



～検査の必要性～



病院に行くと採血を受けることが多いと思います。

今回は「検査」がなぜ必要かをお伝えできればと思います。

～体の小さな悲鳴を見逃さないため～

普段は元気に動いている体も中身は悲鳴を上げている場合があります。心臓などの臓器は声を出すことができないので、血液中の成分をしらべて身体異常の有無を調べます。



～薬の副作用の有無を調べるため～

心臓を守るためのお薬は、肝臓や腎臓に負担をかけます。下痢や発疹などわかりやすい症状があればまだよいですが、肝臓や腎臓も我慢強い臓器ですので、かなり悪くならないと症状が現れません。お薬の副作用を最小限にしつつ、お薬の効果を最大限になるように管理をする。そのためにも定期的な採血が有効です。

～基本的には「前と変わっていないこと」を確認するため～

「毎回毎回、変わりないならもう検査いらんのと違う？」よくいただくご質問です。これは病状が安定している方に限られますが、前回の診察時の状況と変わっていないことを確かめるため検査と診察を行います。検査のためにお待たせすることもあるかもしれませんが、ご協力お願いします。



心臓リハビリでも検査を実施します。CPX(心肺運動負荷試験)という検査です。ご自身の限界まで自転車エルゴメーターを漕いでもらいます。運動時に心臓に異常な反応が無いか、適切な運動負荷量を決定するために実施します。心臓リハは安全かつ効果的な運動を実施しています。

